vinetur

カリフォルニアのバルクワイン市場、供給過剰が続いた数年を経て回復の兆し

3年連続で収穫量が300万トンを下回り、在庫調整で一部カテゴリーの供給は引き締まったが、買い手の慎重姿勢が続き、価格全体には依然として下押し圧力がかかる

2026年11月13日（金）



Ciatti Companyによると、カリフォルニアのバルクワインおよびワイン用ブドウ市場には、供給過剰が続いた数年を経て、変化の初期兆候が表れている。同社は、収穫量の減少と在庫調整が始まり、価格や購買判断に影響してきた需給の不均衡が緩和されつつあると述べた。

11月12日木曜日に発表された2026年11月版のCalifornia Reportで、Ciattiは、同州のワイン産業が供給過剰への長期的な懸念から、一部カテゴリーでは今後、供給が逼迫する可能性への慎重な懸念へと移りつつあるようだと述べた。同社によると、業界の全体的な見通しは2025年11月より健全

になっている。在庫の内部調整に加え、カリフォルニアでは3年連続で収穫量が300万トンを下回ったことが背景にある。

報告書は、市場全体で広範な回復が起きているとは述べていない。むしろ、特定地域の一部バルクワインで、希望価格が選択的に上昇していると指摘した。Ciattiによると、需要に見合う水準まで在庫が調整された一部の供給業者は、2026年の収穫前よりも残存在庫の価値が高まっているかどうかを見極めるため、販売を控えている可能性がある。

一方、同社は、日々の取引では依然として慎重姿勢が支配的だと述べた。買い手は契約に踏み切ることに消極的で、価格全体には引き続き下押し圧力がかかっている。この状況から、一部で最も深刻な供給過剰が和らぎ始めたとしても、市場がまだ力強い上昇局面に入っていないことがうかがえる。

この変化は飲料業界にとって重要だ。バルクワイン市場は、ワイナリーやブランドワイン事業にとって、供給量を調整する実務上の役割を担うことが多いためだ。企業はバルクワインを使い、必要な数量を確保し、異なる価格帯のブランドを支え、自社のブドウ供給だけに頼らず在庫を管理する。バルクワインの在庫が減ったり、特定の分野で希望価格が上がり始めたりすれば、ワインのポートフォリオ全体でブドウの調達、供給契約、在庫計画に影響が及ぶ可能性がある。

Ciattiによると、地域や品種によって市場の動きに差がある。報告書の公開プレビューで同社は、ブランド向けの供給を必要とする買い手からの需要が高まっている地域があり、特定の品種にも需要が集まっていると述べた。プレビューでは、地域名や品種名は明らかにされなかった。

同社はまた、瓶詰めワイン（ケース商品）の販売をめぐる見方がやや明るくなった一方で、現時点の販売データが明確な方向性を示しているかどうかは疑問だとした。2026年11月版の報告書では、卸売業者の在庫からの出荷を追跡する最新のSipSource卸売業者出荷データを検証した。Ciattiによると、卸売業者は在庫を絞り、必要な分だけを補充する運用をしている。そのため、10月から12月の販売期は、今後のバルクワイン需要、ひいては2027年初頭のブドウ需要を見極めるうえで特に重要となる。

ワイナリーは、消費者向け販売の状況や卸売業者の需要がより明確になるまで、購入判断を先送りすることが多いため、この点は重要だ。年末商戦での販売が伸び、卸売業者が在庫を低く保てば、ワイナリーはバルクワイン市場での調達を再び活発化させ、その後、今後のヴィンテージ向けにブドウを確保する必要が生じる可能性がある。需要が低迷したままであれば、買い手は引き続き様子見となり、供給が逼迫したカテゴリーでも価格上昇が抑えられる可能性がある。

報告書では、Ciattiの月次在庫グラフも更新し、総ガロン数と品種別の在庫を示すとともに、掲載在庫を沿岸部と内陸部に分けてまとめた。同社はこれらの数値を、需給の再調整が進んだ最近の期間における過去の11月の在庫水準と比較した。さらに、California Association of Winegrape Growersの2026 California Winegrape Mapping Projectを検証し、その調査結果と、現在同社に登録されているバルクワイン在庫の地域別分布との整合性を評価した。

公開されたプレビューは限られていたものの、Ciattiが顧客に示した指針からは、市場関係者がより活発な在庫の組み替えに備えていることがうかがえる。同社はバルクワイン供給業者に対し、新たに造られた2026年ヴィンテージのワインと、供給可能な2025年ヴィンテージのロットを登録する

よう促した。また、ブドウ供給業者には、2027年に供給可能となる見込みのブドウを早めに登録するよう勧めた。買い手とブドウをより早く引き合わせ、栽培農家が農場計画を立てる際の確実性を高めるためだ。

Ciattiは、2027年産ブドウの購入を検討している買い手には同社の仲介チームに連絡するよう助言した。また、2025年および2026年ヴィンテージのバルクワインを購入する買い手には、サンプルを速やかに提供できるよう、必要量を伝えることを勧めた。慎重姿勢が依然として強い一方で、カリフォルニアのワイン供給の均衡が変わりつつある可能性を踏まえ、売り手と買い手の一部が動き始めている市場の状況を反映している。